

【第1回審議会意見シート】主な意見等

学校再編	<p>【再編の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市財政の厳しき、教員のなり手不足などを踏まえると、通学区域の見直しや学校の統廃合、学校規模の縮小などを考えていくべき。 ・学校の小規模化によって、子どもたちが多様な価値観に触れる機会や社会性の醸成の低下が懸念されることから、一定の規模を確保するための学校再編の必要性は十分理解できる。 <p>【検討の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極めて重要な課題であることから、スピード感を持って取り組むべき。 ・他自治体の学校再編の取組について調査研究し、活かしてほしい。 ・地域密着型教育という点から、従来の4地域での検討か又は、通学区域の柔軟な変更か確認したい。 ・学校形態を考える際、市の教育の特色である保・幼と小学校とのつながりをどう考えるか意見交換したい。 ・学校再編は市の将来を考える問題であり、多くの観点から方向性を見出していききたい。 ・学校の歴史や地域の実情を踏まえ丁寧に、しかし時には大胆に進めていかなければならない。 <p>【配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の不足は子どもたちの負担にもつながるため、教職員へのケアを充実させるべき。 ・通学が遠距離になる児童はスクールバスによる送迎が必須と考えるが、市の検討状況を教えてほしい。 ・学校は地域の核としての機能を持ち、地域づくりの原点でもある。 ・子どもが楽しく学び成長するためには、地域も指導者も全てが安心・安全であることが第一である。
児童生徒数の将来推計	<ul style="list-style-type: none"> ・5年単位で推計値を示し、その数値から考えられる状況を検討していくことが20年後の姿につながるのではなか。 ・加須市は社会増が多いという特徴があるので、社会増減を考慮した推計とすべき。 ・外国人が占める割合が、どのように推移していくのか気になる。 ・「前提・根拠」によって推計値が大きく変化することから、この2点を明確にするべき。 ・民間開発が地域の人口増減に大きく影響するケースもあり、20年先の推計は難しい。 ・一時的に増えている地域は周辺の学校へ通えるといった、柔軟な通学制度も検討したい。
基本計画の骨子案	<ul style="list-style-type: none"> ・20年先まで考える必要があるため、今後の児童生徒数の推計、教育や地域の変化を捉えつつ、多くの意見を集約して計画づくりに取り組むことが大切である。 ・県が策定した「新校基本計画」（魅力ある県立高校づくり）も参考になるのではないかな。 ・学校形態の検討は、学習指導要領の改訂を見据えて検討していけるとよい。 ・「通学区・通学路」「学校整備状況」「学校施設の維持管理費」といった項目を記載すべき。 ・学校が担っている様々な役割や機能について、整理する必要がある。 ・学校再編の計画と合わせて、地域の活力づくりの計画も必要である。
その他意見など	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の良さもあるが、児童生徒数が少ないことによる「体験格差」が生まれる。 ・今後の学校づくりにおいて、温暖化への適応（夏場の登下校等）が重要である。 ・基本方針の19ページの位置図について、各中学校の通学区域を明示してほしい。 ・素案作成までの期間が短いため、たたき台があると協議しやすい。 ・各立場の委員皆さんが積極的に意見を出し合うことで、実りある検討になると思う。